

PeopleCert CPD Guide

Continuing Professional Development(CPD)のガイド

Continuing Professional Development(CPD)を実施することにより、上位資格への研修または試験を再受験することなく、認定日までに更新を延長できます。この記事では、このプロセスの仕組みと、MyAxelos 内の CPD 機能を使用して CPD アクティビティを送信する方法について説明します。最新情報は、<https://peoplecert.jp/PeopleCertPlus.html> に展開されています。

1. 認定資格の更新とは何ですか？

ピープルサートグローバルベストプラクティス認定を受けたすべての候補者は、元の認定日から3年以内に更新することを選択できます。

3年後に更新するオプションがある認定は次のとおりです。

- ITIL® 4
- PRINCE2® 5th and 6th
- PRINCE2® Agile
- MSP® 4th and 5th
- M_o_R® 3rd and 4th
- MoP®
- P3O®
- MoV®
- AgileSHIFT®
- RESILIA®

認定を更新する簡単な方法は、MyAxelos プラットフォームで CPD ポイントを収集して記録することです。

2. CPD の提出を許可する認定資格はどれですか？

すべてのグローバルベストプラクティス認定では、更新するために CPD を提出することができます。グローバルベストプラクティス認定を製品スイートにグループ化して、更新を容易にし、Continuing Professional Development をサポートしています。製品スイート内の認定はすべて、日付ごとに同じ更新を共有します。

CPD 提出の場合、更新は製品スイート レベルで行われます。製品スイートは次のとおりです。

プロダクトファミリー(ファミリー内で更新期限は管理されます)				
ITIL 4 Product Suit	Project, Program & Portfolio Management Product Suite	AgileSHIFT® Product Suite	RESILIA® Product Suite	DevOps Institute
すべてのITIL® 4 モジュール	PRINCE2®, PRINCE2® Agile, MoR®, MSP®, MoV®, MoP®, P3O®	AgileSHIFT® certifications	RESILIA® certifications	すべてのDevOps Institute モジュール

3. CPD による更新はどのように機能しますか？

CPD を申請するには、PeopleCert Plus のアクティブなサブスクリプションを保持している必要があります。

CPD ポイントは、製品スイート内の個別または複数の認定に対して記録できます。各製品スイートについて、CPD のさまざまなカテゴリにわたって、3 年連続で少なくとも 20CPD ポイントを提出する必要があります。

この期間が終了すると、認定資格の更新期限が 3 年間延長され、このサイクルが繰り返されます。

MyAxelos 製品ポートフォリオの開発を続ける中で、CPD リストにさらに認証を追加する可能性があります。また、資格、そして最終的にはその認定資格を、更新された業界のベストプラクティスに置き換えるために廃止する場合もあります。その場合、もちろん事前に十分にお知らせしますが、これは既存の 3 年間の延長には影響しません。

4. どのくらいの CPD を提出する必要がありますか？

各製品スイートについて、CPD のさまざまなカテゴリにわたって、3 年間連続して、毎年少なくとも 20CPD ポイントを提出する必要があります。これらのポイントは、製品スイート内の最新の試験に最初に合格した日までに提出する必要があります。たとえば、複数のファミリーの認定資格の中の最新（最後）の認定資格が 4 月 1 日に認定された場合、毎年 4 月 1 日までに 20 CPD ポイントを記録する必要があります。

これらのポイントのうち少なくとも 5 つは、プロフェッショナルエクスペリエンスのカテゴリに含まれている必要があります。残りの 15 は、任意のカテゴリからのものにすることができます。

原則の図を次に示します。

CPDポイントは、すべてのカテゴリで記録可能（参考例）		
職歴 Professional Experience このカテゴリのみ最低5ポイントが必要	専門教育 Professional Education	コミュニティ Community
各アクティビティで 1 ポイント 最低 5 アクティビティが必須	各アクティビティ1時間で1 CPDと評価（30分単位 0.5ポイントで記録が可能）	
<ul style="list-style-type: none">• 専門的プラクティス： 職場でのベストプラクティスの適用• ベストプラクティスに関連する同僚へのコーチング• 個人またはグループの成長をサポートするためのメンタリング• ベストプラクティスに関連して同僚をシャドウイングする作業	<ul style="list-style-type: none">• ピープルサート認定資格• ピープルサート認定トレーニング機関からのその他の認定資格• ピープルサート認定以外のトレーニング機関からのその他の認定資格• 授与認定機関からの専門資格• 社内研修• eラーニング• 関連する書籍、出版物、研究、ホワイトペーパーなどを学習• ポッドキャストやウェビナーへの参加	<ul style="list-style-type: none">• 業界/ベストプラクティス関連イベントの開催• コミュニティディスカッションへの貢献• ソートリーダーシップの関与• 業界イベントへの参加• コミュニティディスカッションへの参加• 知識と経験を共有するためのボランティア

5. どのアクティビティが CPD としてカウントされますか？

CPD としてカウントされるアクティビティの定義済みリストは規定していません。CPD ログに記録するアクティビティは、専門能力開発に関連し、ここで定義されているカテゴリの 1 つに最もよく適合する必要があります。

ただし、以下に CPD 活動の例をいくつか示して、ガイドとインスピレーションを提供します。

6. アクティビティは何ポイントの価値がありますか？

Professional Education（専門教育）と Community（コミュニティ）では、1 ポイントは 1 時間分の努力に相当します。アクティビティごとに最小 30 分または 0.5 ポイント、最大 15 時間または 15 ポイントを記録できます。

プロフェッショナル エクスペリエンス（職歴）の 5 つのポイントについては、認定資格で得られたベストプラクティスの知識に関連し、認定資格内のスキルと行動にリンクする、自分の役割で行った 5 つの個別のアクティビティをリストする必要があります。

7. CPD のカテゴリは何ですか？

3つのカテゴリ、Professional Experience, Professional Education そして Community は次のとおりです。

Professional Experience - 職歴

この必須のカテゴリは、最低5つのアクティビティからなるCPD5ポイントの提出記録が必須です。

この必須カテゴリには、職場または他の専門的な環境での専門的な能力におけるスキルと知識の実用化の証拠が必要です。1つの活動に対して1ポイントを獲得し、コーチング、メンタリング、ワークシャドウイング、または専門的な実践を通じて5つ以上のアクティビティの記録が求められます。これらの活動の中で、あなたはあなたの作業環境であなたの資格からベストプラクティスの実践的な利用を実証しなければなりません。たとえば、プロジェクト計画の作成やリスクワークショップへの参加などです。

アクティビティの種類	内容	アクティビティの例
プロフェッショナルプラクティス	資格から職場環境へのベストプラクティスの適応化、およびベストプラクティスを採用して職場に適応させる職業内の一連の作業を行う。 あなたの専門的なプラクティスが何を伴うかについては、Axelos の役割プロファイルを参照してください。	<ul style="list-style-type: none">プロジェクト計画の作成RAID ログの保守ビジネスケースの作成クライアントクエリを管理するための手法とプラクティスの監視と改善セキュリティ侵害の調査を監督するIT サービスの戦略的評価の実施
コーチング	あなたの資格に関連する分野で同僚を指導する	<ul style="list-style-type: none">特定の作業分野に関するコーチングを提供する。例としては、ビジネスケースの作成、SLA の開発、コミュニケーション計画の定義など。
メンタリング	個人またはグループのメンターとして、開発ニーズを満たし、職場でベストプラクティスを採用および適応させる	<ul style="list-style-type: none">メンタリング相手に利益をもたらす長期間のメンタリングを提供する。例としては、シニアプロジェクトマネージャーが最初のプロジェクトを通じてジュニアプロジェクトマネージャーを指導したり、ビジネスリレーションシップマネージャーが新しいサービスの要件を定義する際にサービスレベルマネージャーを指導する。
ワーク シャドウイング	あなたの資格に特に関連する仕事でより経験豊富な同僚をシャドウイングする	<ul style="list-style-type: none">経験豊富な同僚が特定の作業領域を引き受けて完了している間、シャドウイングします。例としては、プロジェクト計画の作成、問題の調査と診断など。長期間にわたって同僚から指導を受けることで、ビジネス内の利害関係者管理の改善など、作業慣行に利益をもたらし、前向きな変化を達成する。

Professional Education - 専門教育

このカテゴリには、組織、認定トレーニング組織 (ATO)、または外部のトレーニング プロバイダーを通じて提供できる、公式または非公式のトレーニングまたは認定の証拠が必要です。自主的な勉強にすることもできます。アクティビティの 30 分ごとに 0.5 ポイントを請求できます。

アクティビティの種類	内容	アクティビティの例
ピープルサート認定	ピープルサートに登録された ATO でピープルサート認定を取得する	認定トレーニングコースを受講する、および/または ITIL、PRINCE2、PRINCE2 アジャイル、MSP、M_o_R、MoV、MoP、P3O、アジャイルシフト、または RESILIA 試験に合格する。
その他の認定資格	ピープルサートに登録された ATO でピープルサート以外の認定を取得する	あなたの職務またはピープルサート認定を補完する原則の適用をサポートする認定をピープルサートに登録された ATO で実施する。
専門機関からの資格	ピープルサート以外の専門機関が提供する資格を取得する	プロフェッショナルな認定機関からの資格を取得する。これは、ISACA、IPMA、APM、BCS などのピープルサートポートフォリオを補完する専門機関の資格などです。または、ACCA、CIMA、CPA、CMI、CIM、IRM などの職務をサポートするプロフェッショナルな認定機関。
その他のトレーニング	ピープルサート ATO ではない組織が提供するトレーニングまたは資格を取得する	あなたの職務をサポートするトレーニングまたは資格の実施、またはピープルサート資格を補完する原則の適用。 たとえば、管理、財務、リスクのトレーニングなど。
社内研修	雇用主が提供する構造化された社内トレーニングに参加する	このトレーニングは、あなたの職務またはピープルサート認定を補完する原則の適用をサポートする組織によって提供されるものなら何でもかまいません。 たとえば、管理、財務、リスクのトレーニングなど。
シミュレーション	構造化されたトレーニングを提供するリモートまたは室内シミュレーション	シミュレーションまたは没入型の学習活動を実施して、仕事をより効果的に行うか、資格に関連する原則を適用する。 シミュレーションは、いくつかのピープルサート ATO によって提供されています。
e ラーニング	リモート e ラーニングによる構造化されたトレーニング	リモート e ラーニングを通じて構造化されたトレーニングを実施し、仕事をより効果的に行うことができ、資格に関連する原則を適用したり、認定資格につながったりします。
ブレンディッドラーニング	e ラーニングとクラスルームベースのトレーニングを組み合わせた構造化されたトレーニング	e ラーニングとクラスルームベースのトレーニングを組み合わせて構造化されたトレーニングを実施し、仕事をより効果的に行うか、資格に関連する原則を適用できるようにします。
ウェビナー	ウェビナーを通じて提供される構造化されたトレーニング	ウェビナーを通じて提供される構造化されたトレーニングを実施し、仕事をより効果的に行うため、または資格に関連する原則を適用できるようにします。
出版物	ピープルサートまたは同等のガイダンス/出版物を読む	ピープルサートが発行した記事、論文、ケーススタディ、ホワイトペーパーを読む。
正式なソートリーダーシップ	正式な業界のソートリーダーシップコンテンツを読む	雑誌記事、教育論文、雑誌記事、ケーススタディ、論文を読む。

非公式のソートリーダーシップ	非公式の業界のソートリーダーシップコンテンツを読む	ブログ、フォーラム、コメント、アドバイス、雑誌記事を読む。
オンラインソートリーダーシップ	オンラインのソートリーダーシップを聞く	ウェブキャスト、ポッドキャスト、ウェビナーを聞く。
研究、エッセイ、論文	エッセイや論文の研究と執筆	専門機関または学術機関向けの業界のエッセイまたは論文の研究および執筆。

Community - コミュニティへの参加

このカテゴリには、コミュニティの積極的または受動的な参加の証拠が必要です。自主的な勉強にすることもできます。アクティビティの30分ごとに0.5ポイントを請求できます。

活動	内容	例
アクティブなコミュニティ参加	イベントの開催	あなたの職業に関連するイベントの組織化を支援または主導する
	あなたの職業内でのボランティア活動	あなたの職業内の関連団体(フォーラム、委員会、特別利益団体、支部など)の委員会またはフォーラムに参加する。
	正式な業界プレゼンテーションの準備と提供	セミナー、基調講演、ウェビナーのプレゼンテーションによるソートリーダーシップの提供。
	業界のソートリーダーシップセッションの開催	ソートリーダーシップ円卓会議、ワークショップ、分科会、支部イベントの開催。
	ピープルサートガイダンスの作成	ピープルサートの公式出版物、論文、ケーススタディの執筆。
	オーサリング ガイダンス	同等に認められた機関または学術機関との出版物、論文、およびケーススタディの執筆。
受動的なコミュニティ参加	非公式の業界のソートリーダーシップとコンテンツのオーサリング	雑誌記事、教育論文、雑誌記事の執筆。
	業界イベントへの参加	あなたの職業内のソートリーダーシップイベント(会議、支部会議、分科会フォーラムなど)に参加する。
	業界以外のイベントへの参加	ITSM または PPM 以外の会議、セミナーなど、関連する非業界固有のイベントに参加するが、キャリアパス/スキルプロファイルに関連する。
	オンラインイベントへの参加	オンライン会議、Google ハングアウト、ウェビナーを聞いて参加する。

8. CPD を追加方法

PeopleCert の WEB サイトにサインインした後のタブから認定証 (認定とメンバーシップ) を選択して MyAxelos に移動するか、または MyAxelos へログイン <https://peoplecert.org> よりサインインができます。

CPD 登録へのアクセス

- ▶ PeopleCert の Web サイトの右上の言語選択を英語とします。
- ▶ ユーザーアカウントへサインインして、タブメニューより「Certifications」 (認定とメンバーシップ) そして「CPD」を選択します。
- ▶ CPD の登録をする認定資格を選択して、画面の指示に従って入力します。
詳しくは、PeopleCert membership CPD ガイドをご参照ください。

9. 十分な CPD を提出しないとどうなりますか?

各年に必要十分な CPD ポイントを提出しない場合、その後の年に CPD ポイントを提出することができなくなり、更新するには適切な試験を受ける必要があります。

10. 20 を超える CPD ポイントは翌年に持ち越されますか?

超過した CPD ポイントは、翌年に持ち越されません。

11. 5 ポイントを超える CPD ポイントは引き継がれますか?

職歴 CPD ポイントが 5 ポイントを超えると、当年度の CPD ポイントにカウントされますが、翌年には繰り越されません。

12. CPD はどのように監査されますか?

監査のために CPD 提出記録の無作為サンプルを取ります。CPD 提出記録の 1 つが監査対象として選択された場合、チームメンバーが直接あなたに連絡し、CPD 提出を裏付ける証拠を要求します。

提出した証拠が適切であると判断された場合は、監査に合格します。証拠が不適切と判断された場合は、さらなる証拠を提出するよう求められ、できない場合は、CPD 提出が拒否され、請求したポイントが取り消され、CPD 提出による認定日まで更新を延長できなくなる可能性があります。

ご不明な点は、[PeopleCert.jp](https://peoplecert.jp) のホームページまたは [カスタマーサービス](#) へお問い合わせください。

CPD アクティビティ記載の英語サンプル (英語での記載の場合は、転記など参考にしてください)

Professional Experience

B

Activity Type	Description	Activity Examples
Professional Practice	<p>Practical application of best practice from your qualification into your working environment, and undertaking a body of work within your profession that adopts and adapts best practice into the workplace.</p> <p>For more information on what your professional practice could entail see the Axelos Role Profiles.</p>	<ul style="list-style-type: none">• Creating a project plan• Maintaining a RAID log• Creating a business case• Monitoring and improving techniques and practices for managing client queries• Supervising investigations into security breaches• Undertaking a strategic assessment of IT services
Coaching	<p>Coaching a colleague in areas related to your qualifications</p>	<ul style="list-style-type: none">• Providing coaching on a specific area of work. Examples include creation of a business case, development of SLAs or defining a communication plan
Mentoring	<p>Being a mentor to individual or group to meet their development needs and adopt and adapt best practices in the workplace</p>	<ul style="list-style-type: none">• Providing a prolonged period of mentoring which benefits the mentee. Examples include a senior project manager guiding a junior project manager through a first project, or a business relationship manager guiding a service level manager on defining requirements for new services
Work shadowing	<p>Shadowing a more experienced colleague in a piece of work specifically related to your qualification</p>	<ul style="list-style-type: none">• Shadowing an experienced colleague whilst they undertake and complete a specific area of work. Examples include developing a project plan, or problem investigation and diagnosis.• Being mentored by a colleague over a long period of time which benefits and achieves positive change in working practices, such as improved stakeholder management within the business.

Professional Education

This category requires evidence of formal or informal training or certification this can be delivered by your organization, by an Accredited Training Organization (ATO), or through an external training provider. It can also be self-directed study. You can claim one point for each hour of activity.

Activity Type	Description	Activity Examples
PeopleCert certifications	Taking a PeopleCert certification with a PeopleCert registered ATO	Undertaking an accredited training course and/or passing your ITIL, PRINCE2, PRINCE2 Agile, MSP, M_o_R, MoV, MoP, P3O, AgileSHIFT or RESILIA exam
Other certifications	Taking a non-PeopleCert certification with a PeopleCert registered ATO	Undertaking a certification that supports your job role or application of principles that complement your PeopleCert certification with a PeopleCert registered ATO
Qualifications from a professional body	Taking a qualification supplied by a professional body other than PeopleCert	Undertaking a qualification with a professional body. This could be a professional body qualification that complements the PeopleCert portfolio, such as ISACA, IPMA, APM, BCS; or a professional body that supports your job role, such as ACCA, CIMA, CPA, CMI, CIM, IRM
Other training	Taking training or a qualification provided by an organization that is not an PeopleCert ATO	Undertaking training or a qualification that supports your job role or application of principles that complement your PeopleCert qualification. For example, management, finance, or risk training
In-house training	Taking part in structured in-house training provided by your employer	This training could be any provided by your organization that supports your job role or application of principles that complement your PeopleCert certification. For example, management, finance, or risk training
Simulations	Remote or in-room simulations that provide structured training	Undertaking a simulation or immersive learning activity that enables you to do your job more effectively or enables you to apply principles related to your qualification. Simulations are provided by some PeopleCert ATOs
eLearning	Structured training through remote eLearning	Undertaking structured training through remote eLearning that enables you to do your job more effectively, enables you to apply principles related to your qualification, or leads to a recognized qualification
Blended learning	Structured training through a blend of eLearning and a classroom-based training	Undertaking structured training through a blend of eLearning and classroom-based training that enables you to do your job more effectively or enables you to apply principles related to your qualification
Webinars	Structured training delivered through webinars	Undertaking structured training delivered through webinars that enables you do your job more

effectively or enables you to apply principles related to your qualification

Publications	Reading PeopleCert or equivalent guidance/publications	Reading articles, papers, case studies and whitepapers published by PeopleCert
Formal thought leadership	Reading formal industry thought leadership content	Reading journal articles, educational papers, magazine articles, case studies, papers
Informal thought leadership	Reading informal industry thought leadership content	Reading blogs, forums, comments, advice, magazine articles
Online thought leadership	Listening to online thought leadership	Listening to webcasts, podcasts, webinars
Research, essays and theses	Research and writing essays or theses	Research and writing industry essays or theses for professional bodies or academic institutions

Community Participation

This category requires evidence of either active or passive community participation. It can also be self-directed study. You can claim one point for each hour of activity.

Activity	Description	Examples
Active Community Participation	Organizing events	Aiding or leading in the organization of events related to your profession
Active Community Participation	Volunteering within your profession	Sitting on committees or forums for relevant bodies within your profession for example forums, committees, Special Interest Groups, Chapters
Active Community Participation	Preparing and delivering formal industry presentations	Providing thought leadership through presenting seminars, keynotes, webinars
Active Community Participation	Hosting industry thought leadership sessions	Hosting thought leadership roundtables, workshops, Special Interest Groups, chapter events
Active Community Participation	Authoring PeopleCert guidance	Authoring official PeopleCert publications, papers and case studies
Active Community Participation	Authoring guidance	Authoring publications, papers and case studies with an equivalently recognized body, or academic institute
Active Community Participation	Authoring informal industry thought leadership and content	Authoring journal articles, educational papers, magazine articles
Passive Community Participation	Attending industry events	Attending a thought leadership event within your profession for example conferences, chapter meetings, Special Interest Group forums
Passive Community Participation	Attending non-industry events	Attending relevant non-industry specific events for example conferences, seminars outside of ITSM or PPM but related to your career path/skills profile
Passive Community Participation	Attending online events	Listening and attending online conferences, google hangouts, webinars